

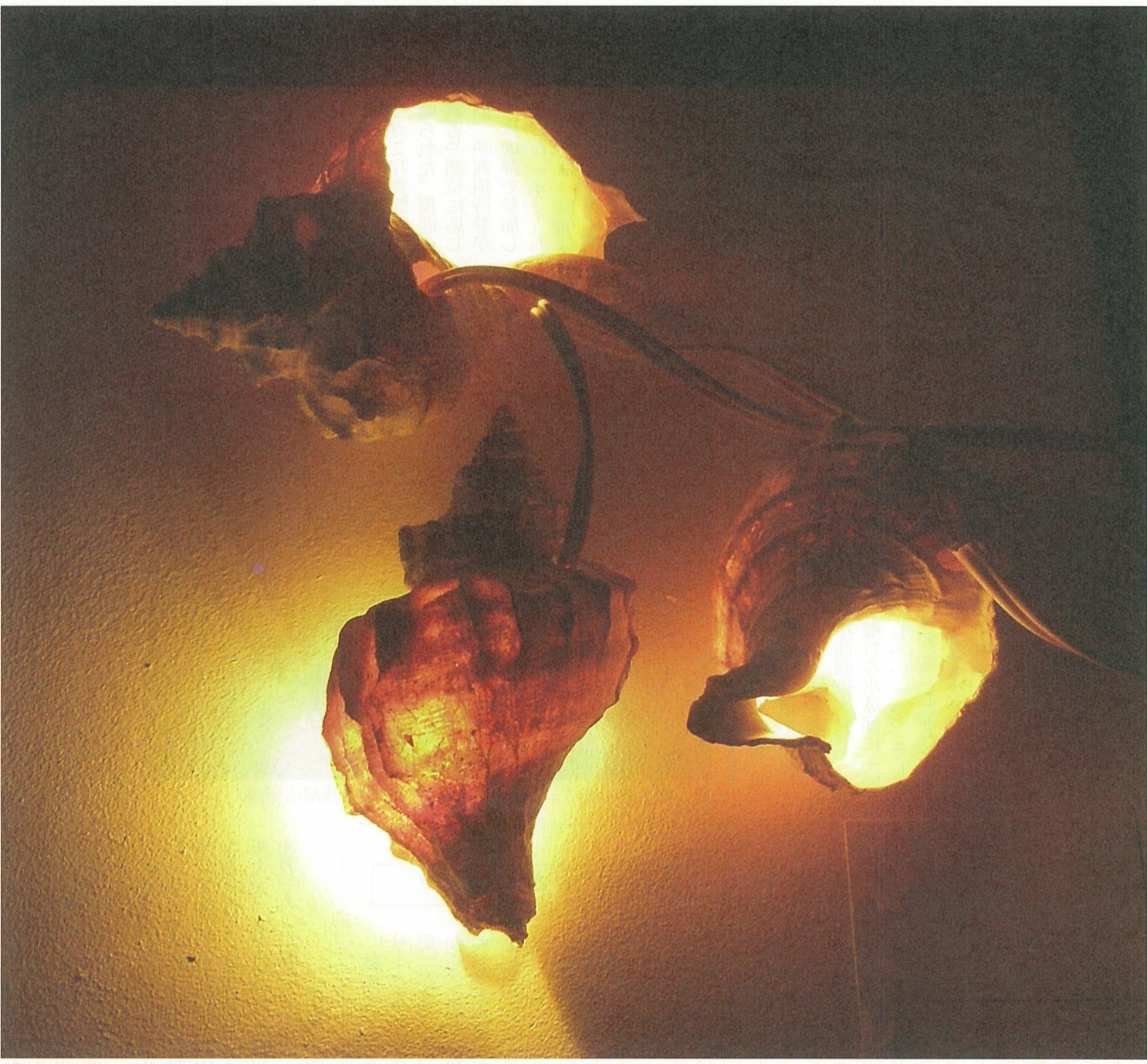
The Akita University Post

Friday, July 4, 2008 創刊号



発行 AUP 秋田大学報道局
主筆 市井 了
編集デスク 齋藤 基

AUPでは記者、カメラマンを募集しています。
連絡先：aup@live.jp



「Shell Light」(C) ICHII Satoru, AU-Laboratory of Industrial Design.

インダストリアルデザイン研究会

秋大発、工業デザインを考える

工学と感性の狭間で
秋大に今年度設立された団体に「インダストリアルデザイン研究会」が

Smokingがある。インダストリアルデザインとは、工業製品として使いやすさである機能性と構造また形態としての美しさを兼ね備えたデザインのことである。インダストリアルデザイン研究会は主

宰の市井了さん(工学資源学部4年次)と小林潤さん(工学資源学部4年次)が今年6月に展覧会、「今野昌人デザイン展」を開催するにあたって、インダストリアルデザインの意義

を秋大で強調しようと設立を決意、現在、工学資源学部環境物質工学科40人の団体として活動している。インダストリアルデザインは文字通りIndustrial II 工業、design II 設計ということで、自動車か

ら食器、電気機器など幅広いデザイン領域を指すものであるが、写真家でインダストリアルデザイン研究会広報局長の小林さんは「ある意味で写真もデザイン、一つの表現という意味では工業デザインも写真も同じ土俵の上である。感性をどう工業デザインに生かすか、それは技術者として更に考えなければならぬ」と抱負を述べた。

今後に繋げる橋

インダストリアルデザイン研究会は四年生四〇人ということで、このままでは来年度以降の存続が懸念される。

主宰の市井了さんは「秋大は総合大学で、工学資源学部には色々な工学の専門学科があり、教育文化学部には美術の専門もあるのだから、そこに跨る科目があればより人間工学やインダストリアルデザインに興味を持つ学生も増えるのではないかと。私達が作った団体が何かのきっかけになれば」と、またサークルの存続については「決して存続が目的ではない。今私達がどう考え、どう行動するかであり、それに同じ考えを持つ後輩が何人現れるかだと思ふ」と研究会の方針を語った。



インダストリアルデザイン研究会の今後の活動予定としては十二月に市内のギャラリーを借りて展覧会を計画しており、会員が造る製品の他に各々の表現技法が期待される。詳しくは主宰の市井了さんまで。

(齋藤 基)

学貴日新

▼幼い頃、私といえば非常に先生受けする良い子であった。しかし、上手くなったのは褒められるための方法であって、本当に大事なことが、そんな子供に分かるはずなかった▼要するに、私は小さい頃から人の言うことにのっとって行動することに慣れてしまっていたのである。世の決まりごとは、不足な点があれば補足できるし、間違った箇所があれば改善できるのだ。ある人の行動を決めるのは基本的にその人である。なぜ、そうしないのかと言えば、自分を取り巻く環境のことをよく知らないからだ▼ここに一つのカバンがある。中には関数電卓やら、電子辞書、貯金通帳なんかも入っていたかもしれない。あなたがこのカバンの中の荷物を整理するならば、最初何をやるだろうか?とありあえず、中身をすべて取り出すと思う。カバンに何が入っていたのかを確認するのが、整理する上でもっとも大事なことでとわわわわわわからだ。そして、自分がこれから向かう授業にあわせて荷物を詰めなおすだろう▼このカバンを学生生活に置き換えるとしたら。中の荷物はサークル活動やら授業やらということになる。より良い学生生活を過ごすためにはこのカバンの中に必要な荷物を整理しなければいけない▼物事をより良く改善するには、その中身や状況を把握することが最初に行うべきことである。最も重要なことだ。そのため、柔軟な評価のための、歪みの無い情報が大切である。そこから、正しい判断が生まれるのである。▼秋田大学報道局がこのほど発足する事になった。学生とは何か、大学とは何か。秋田大学を取り巻く全ての事に、学生皆が独自のアイデアを持てるよう、情報を提供していきたい。

AUP Photo Library.



鉱業博物館より秋大手形キャンパスを望む。(報道班 小林 潤)

今日歩大会行われる

369人の二日間

地域と一緒に歩む

秋大の恒例行事である今日歩大会(主催:秋大体育会)が五月三十一日(土)、六月一日(日)に渡り行われた。今年で四十三回を数えるこの大会は秋大関係者だけでなく、一般市民の参加も募っており、今年も多く市民が参加した。『陸上動物の基本動作である「歩く」ということを見直すことで、健康の回復増進への刺激の機会をつくる・秋大生と一般市民との交流を深める』という主旨をもつこの大会は、他大学には見られない地域参画型の秋大独特の行事である。

二十一日 寒風山出発

五月三十一日(土)の二十一日に寒風山をスタートした。参加形式は個人・団体(四人一組)の二形式。研究室や課程、サークルの仲間チームをつくる参加者も多い。目標が入賞の人も完走の人も目指すは手形キャンパスであり、五か所のチェックポイント

イントでチェックを受けながら寒風山から秋大大会会館前までの四〇kmを自分の足で歩き切る。

スタート時間が深夜であるため、四〇kmの行程を暗いなか歩く。

今年度の優勝タイムは男性で二時間四十四分二十六(金沢元さん・一般参加者)、女性で四時間二分五十二(柏倉久美子さん)。優勝者には香楽園賞としての飲食券のほか、イチノセキ賞の電波目覚まし時計やモガミ写真館賞のアルバムが贈られた。優勝のほかにも入賞者や順位に応じて商品券や酒、映画招待券が贈られた。団体の部で参加した高橋真里子さん(チームMOEMOE)は「参加は嫌ではなかったが、実際に歩いてみてもすごく辛くて大変でした。でも、四〇km歩いたことは自慢できることだし、良い経験にもなりました」と

感想を語った。

学生の参加者の減少

今年度の大会参加者は、個人・団体

合わせて三百六十九名だった。その内、秋大関係者は二百六十二名であった。大会に協力した寒風山ドライビング、昔は寒風山から降りてくる学生が尽きないほど参加者で、仮装などをして参加している学生も



遥か秋大を目指す。(写真提供=秋田大学総務部広報課)

多かつたという。大会を主催した今日歩大会実行委員長の藤江要仁さん(少林寺拳法部)は「大学生活の内に一回だけでも参加してもらえると嬉し

水泳部、北海道へ

(財)日本水泳連盟学生委員 会関東支部主催の第一回北部学生選手権水泳競技大会兼第二十三回北部地区国立大学水泳競技大会が六月二十八日(土)・二十九日(日)に北海道立野幌総合運動公園総合体育館プールで開催される。この大会は国立大学の水泳部にとつて一年で一番大きな大会であり、秋田大学水泳部からは二十八名の選手が出場する。秋田大学水泳部は約六〇名の部員が所属しており、普段の練習メニューは水泳の経験者を中心に原案を作成してそれを皆で話し合いながら最終的な練習メニューに整える。また、特に、水の中の練習に重点を置いている。水泳部はこの大会に向けて現在、今月十六日(月)から大会までの期間合宿を行っており、主将の伊野亮輔(工学資源学部三年次)さんは「主将とし

て、この大会で部員が十二分に力を発揮できるようサポートとしてがんばりたい、もちろん個人でもベストを尽くして自己記録を更新したい。そして、団体としてはまず成功させたい」と熱く語った。また、水泳部は六月十四日(土)、十五日(日)に渡り秋田県立総合プールで行われた第五十九回東北地区大学総合体育大会に出場した。成績は、山田夏輝(一年次)男子一五〇〇M自由形四位、田中菜摘子(二年次)女子一〇〇Mバタフライ四位な



放課後、大会に向けて泳ぐ水泳部員。

どの成績を収めている。第一回北部学生選手権水泳競技大会兼第二十三回北部地区国立大学水泳競技大会で、一時秋田を離れる水泳部に「いつてらっしゃい」を、そして「帰ってきたらお帰りなさい」をかけようではないか。

秋田大学水泳部HP <http://team.aust.web.fc2.com/index.htm> (柴田龍一)

AUPのAUP.

秋田大学非公認サークル「創作工房」が今月十八日から三日間、秋田大学学生会館で作品展「AUP」を行なった。昨年から発足したサークルで、その活動はイラストや漫画、写真、小説や詩など、多様なジャンルの作品制作を対象としている。回展では、サークルのメンバーである教育文化学部三年次の宮田明子さんと七名が制作したイラスト二十二作品を展示。イラストのテーマは自由。使用する画材や紙のサイズなども限定しないこと、メンバーの個性をより表出できるようにした。部長の宮田さんは、「今回は準備期間が短く、宣伝が足りなかったが、短時間で比較的良好な展示会ができたと思う。また、メンバーの絵の特色を今まで以上に知ることができた。今後の予定では十月の大学祭でまた展示会を行うつもりなので、それに向けてまた作品制作をメンバーと共に頑張りたい」と展示会の成果や今後の意気込みを語った。

連絡先は akita_creation_factory@yahoo.co.jp まで。(佐藤友理)

創作工房展

記事の執筆から編集まで、正に一瞬であった。紆余曲折、何とか発刊することができ、一段落ついた。AUPは秋大生皆の新聞である。紙面の主役は勿論秋大生。どんな些細なことでも、秋大生よ、AUPまで一報を!

第二号は七月末を予定している。多くの人からの助言があれば大変参考になる。愉快で面白い紙面を秋大生全員で作ってほしい。

AUP設立に際して

秋田大学報道局 主筆 市井 了

今、学生に告ぐ。秋大生として確かな誇りを持ち、真に自己の活性を促す為に歩み出さなければならぬ。それは大学で得る学芸と教養の成果を、自由で柔軟な良識に富む若く秋大生としての誇りを、確かに存在する自分を表現することである。雨降り、逆風吹き荒れる困難多き時も、雪降り身動けぬ時も、その屈託なき努力を続け、「学貴日新」の心を胸に新たな真理に向かう為、厳しく姿勢を堅持しようではないか。

平成二〇〇七年七月四日

写真部 夏季展

7月14日-18日

大学会館2階

AULSF aulsf@hotmail.co.jp

会員募集中!

秋田大学混声合唱団

エース クワイア A.C.choir

練習日:毎週月・木曜日 午後5:00~8:00

お問い合わせ先:090(3780)2496 井手本